

● 必修

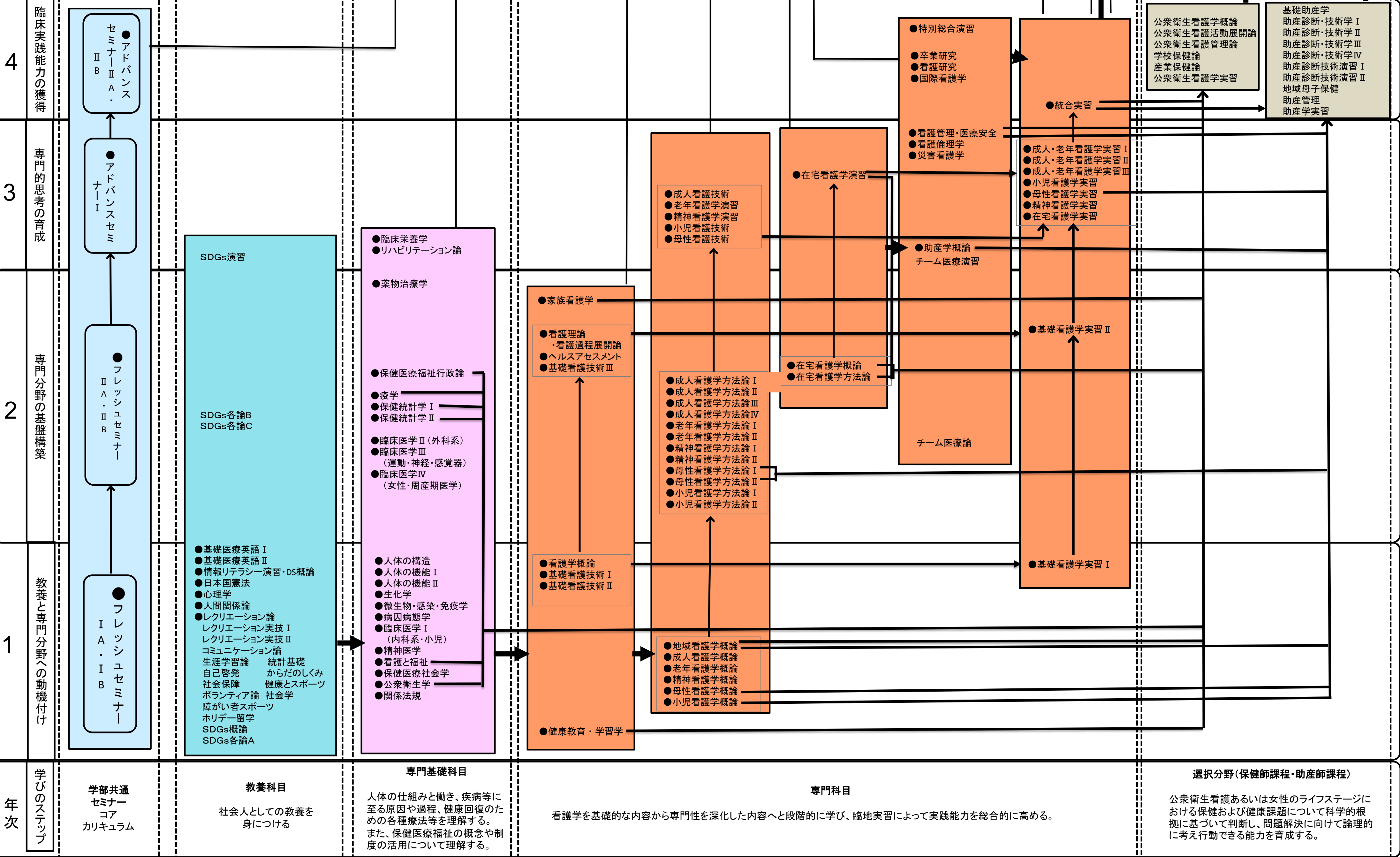
DP1. 知識・理解

DP2. 当該分野固有の能力

DP3. 汎用的能力

DP4. 態度・姿勢

国 家 試 験



● 必修

DP1. 知識・理解

DP2. 当該分野固有の能力

DP3. 汎用的能力

DP4. 態度・姿勢

国 家 試 験

4

臨床実践能力の獲得

● アドバンス
セミナーⅡ

3

専門的思考の育成

● アドバンスセ
ミナーⅠ

SDGs演習

2

専門分野の基盤構築

● フレッシュ
セミナーⅡ
A・Ⅱ
B

SDGs各論B
SDGs各論C

●基礎医療英語Ⅰ
●基礎医療英語Ⅱ
●情報リテラシー演習・DS概論
●日本国憲法
●心理学
●人間関係論
●レクリエーション論

レクリエーション実技Ⅰ
レクリエーション実技Ⅱ
コミュニケーション論
社会保障
生涯福祉
からだのしくみ
健康とスポーツ
海外事情
SDGs概論
SDGs各論A

●リハビリテーション論

●保健医療福祉行政論
●疫学Ⅰ
●保健統計学Ⅰ
●保健統計学Ⅱ

●人体の構造
●人体の機能Ⅰ
●人体の機能Ⅱ
●生化学
●微生物・感染・免疫学
●病因病態学
●臨床医学Ⅰ
(内科系・小児)
●精神医学
●看護と福祉
●保健医療社会学
●公衆衛生学
●関係法規
●健康教育・学習学

●家族看護学

●看護理論
・看護過程展開論
●ヘルスアセスメント
●基礎看護技術Ⅲ

●臨床医学Ⅱ(外科系)
●臨床医学Ⅲ
(運動・神経・感覚器)
●臨床医学Ⅳ
(女性・周産期医学)

●看護学概論
●基礎看護技術Ⅰ
●基礎看護技術Ⅱ

●成人看護技術Ⅰ
●成人看護技術Ⅱ
●老年看護学演習
●精神看護学演習
●小児看護技術
●母性看護技術

●臨床栄養学
●薬物治療学

●成人看護学方法論Ⅰ
●成人看護学方法論Ⅱ
●成人看護学方法論Ⅲ
●成人看護学方法論Ⅳ
●成人看護学方法論Ⅴ
●老年看護学方法論Ⅰ
●老年看護学方法論Ⅱ
●精神看護学方法論Ⅰ
●精神看護学方法論Ⅱ
●母性看護学方法論Ⅰ
●母性看護学方法論Ⅱ
●小児看護学方法論Ⅰ
●小児看護学方法論Ⅱ

●地域看護学概論
●成人看護学概論
●老年看護学概論
●精神看護学概論
●母性看護学概論
●小児看護学概論

●在宅看護学演習

●在宅看護学方法論Ⅱ

●在宅看護学
●在宅看護学方法論Ⅰ

●特別総合演習Ⅰ
●特別総合演習Ⅱ
国際看護学
災害看護学
●卒業研究
●看護研究

●看護管理・医療安全
●看護倫理学

チーム医療演習

チーム医療論

●統合実習

●成人・老年看護学実習Ⅰ
●成人・老年看護学実習Ⅱ
●成人・老年看護学実習Ⅲ
●小児看護学実習
●母性看護学実習
●精神看護学実習
●在宅看護学実習

●基礎看護学実習Ⅱ

●基礎看護学実習Ⅰ

保健師課程

●公衆衛生看護学実習
●公衆衛生看護学活動展開論
●公衆衛生看護管理論

●公衆衛生看護学概論
●学校保健論
●産業保健論
●疫学Ⅱ

助産師課程

●助産学実習
●助産診断・技術学Ⅰ
●助産診断・技術学Ⅱ
●助産診断・技術学Ⅲ
●助産診断・技術学Ⅳ
●助産診断・技術学Ⅴ
●地域母子保健
●助産管理

●助産学概論
●基礎助産学

年次

学びのステップ

学部共通
セミナー
コア
カリキュラム

教養科目

社会人としての教養を
身につける

専門基礎科目

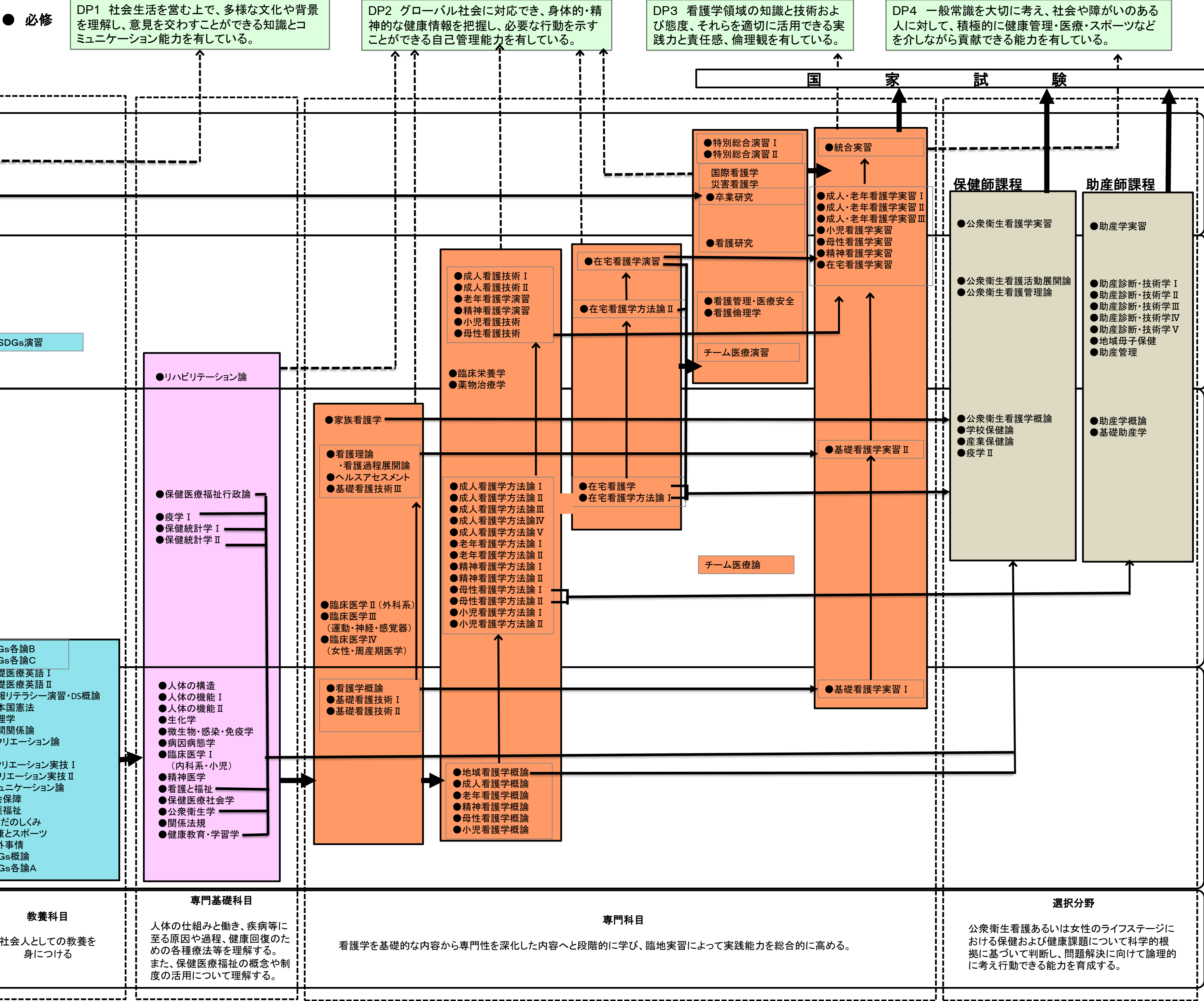
人体の仕組みと働き、疾病等に
至る原因や過程、健康回復のた
めの各種療法等を理解する。
また、保健医療福祉の概念や制
度の活用について理解する。

専門科目

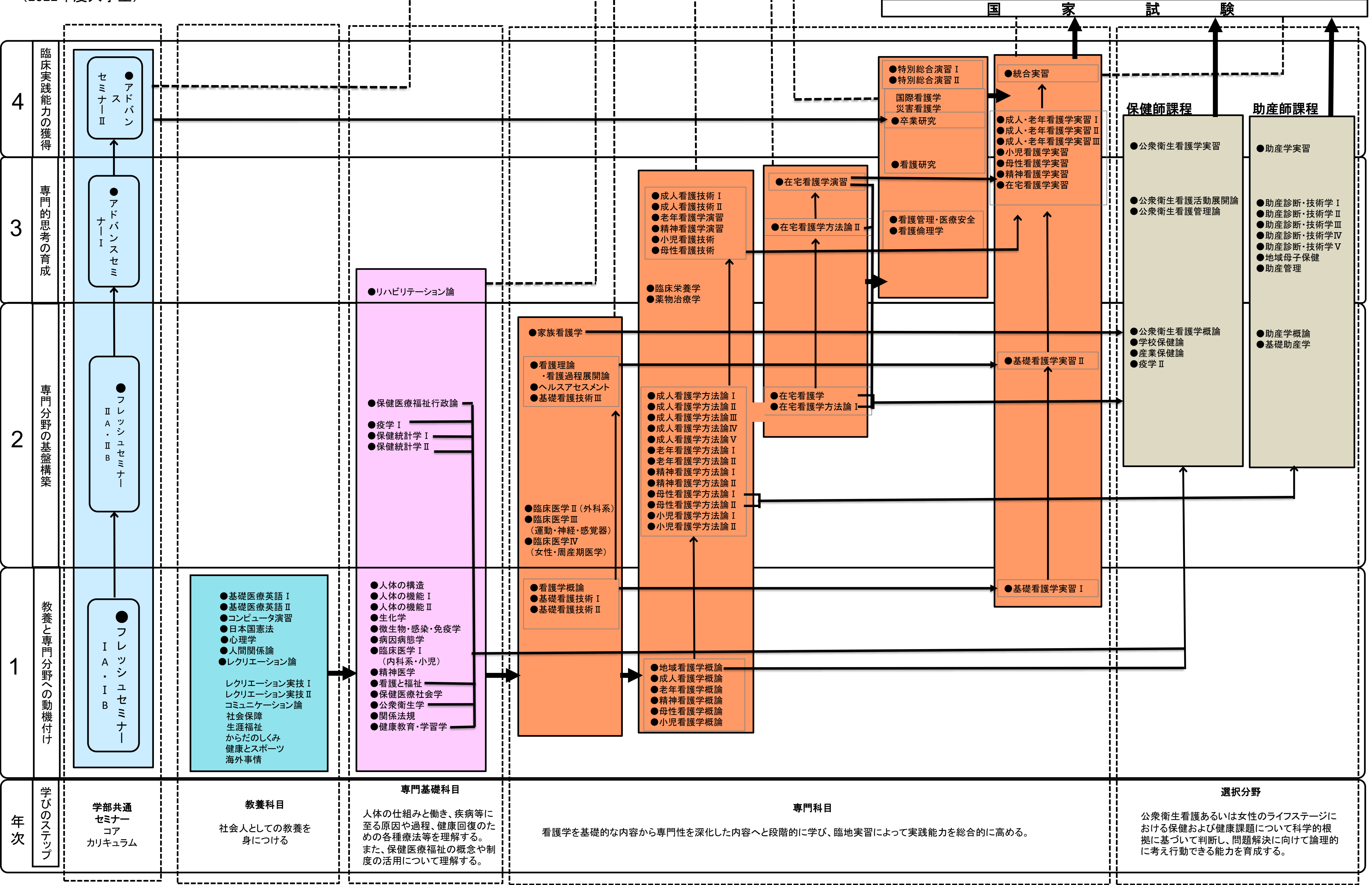
看護学を基礎的な内容から専門性を深化した内容へと段階的に学び、臨地実習によって実践能力を総合的に高める。

選択分野

公衆衛生看護あるいは女性のライフステージに
おける保健および健康課題について科学的根
拠に基づいて判断し、問題解決に向けて論理的
に考え行動できる能力を育成する。



- 必修
- DP1 社会生活を営む上で、多様な文化や背景を理解し、意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している。
- DP2 グローバル社会に対応でき、身体的・精神的な健康情報を把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している。
- DP3 看護学領域の知識と技術および態度、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。
- DP4 一般常識を大切に考え、社会や障がいのある人に対して、積極的に健康管理・医療・スポーツなどを介しながら貢献できる能力を有している。



● 必修

DP1 社会生活を営む上で、多様な文化や背景を理解し、意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している。

DP2 グローバル社会に対応でき、身体的・精神的な健康情報を把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している。

DP3 看護学領域の知識と技術および態度、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。

DP4 一般常識を大切に考え、社会や障がいのある人に対して、積極的に健康管理・医療・スポーツなどを介しながら貢献できる能力を有している。

国 家 試 験

4

臨床実践能力の獲得

アドバン
セミナーⅡ

3

専門的思考の育成

アドバンスセ
ミナーⅠ

2

専門分野の基盤構築

フレッシュセ
ミナーⅡ
A・Ⅱ
B

1

教養と専門分野への動機付け

フレッシュセ
ミナーⅠ
A・Ⅰ
B

年次

学部共通
セミナー
コア
カリキュラム

教養科目
社会人としての教養を
身につける

専門基礎科目

人体の仕組みと働き、疾病等に
至る原因や過程、健康回復のた
めの各種療法等を理解する。
また、保健医療福祉の概念や制
度の活用について理解する。

専門科目

専門分野Ⅰ（基礎看護学）、専門分野Ⅱ（成人看護学・老年看護学・小児看護学・母性看護学・精神看護学）、統合分野（在宅看護論、看護の統合と実践）、臨地実習の4領域に分け科目を配置し、看護学を基礎的な内容から専門性を深化した内容へと段階的に学び、臨地実習によって実践能力を総合的に高める。

選択分野

公衆衛生看護あるいは女性のライフステージに
おける保健および健康課題について科学的根
拠に基づいて判断し、問題解決に向けて論理的
に考え行動できる能力を育成する。

保健師課程

●公衆衛生看護学実習

●公衆衛生看護活動展開論
●公衆衛生看護管理論
●健康教育・学習学

●公衆衛生看護学概論
●家族看護学
●学校保健論
●産業保健論
●疫学Ⅱ

助産師課程

●助産学実習

●助産診断・技術学Ⅲ
●助産診断・技術学Ⅳ
●地域母子保健
●助産管理

●基礎助産学Ⅰ
●基礎助産学Ⅱ
●基礎助産学Ⅲ
●助産診断・技術学Ⅰ
●助産診断・技術学Ⅱ

●リハビリテーション論

●臨床栄養学
●薬物治療学
●臨床医学Ⅱ（外科系）
●臨床医学Ⅲ
（運動・神経・感覚器）
●臨床医学Ⅳ
（女性・小児）
●保健医療福祉行政論

●公衆衛生学
●疫学Ⅰ
●保健統計学Ⅰ
●保健統計学Ⅱ

●基礎医療英語Ⅰ
●基礎医療英語Ⅱ
●コンピュータ演習
●日本国憲法
●心理学
●人間関係論
●レクリエーション実技Ⅰ
●レクリエーション実技Ⅱ

レクリエーション論
コミュニケーション論
社会保障
生涯福祉
からだのしくみ
健康とスポーツ
海外事情

●人体の構造
●人体の機能Ⅰ
●人体の機能Ⅱ
●生化学
●微生物・感染・免疫学
●病因病態学
●臨床医学Ⅰ（内科系）
●周産期医学
●精神医学
●看護と福祉
●保健医療社会学
●関係法規

●看護学概論
●基礎看護技術Ⅰ
●基礎看護技術Ⅱ

●看護理論
・看護過程展開論
●ヘルスアセスメント
●基礎看護技術Ⅲ

●成人看護学概論
●老年看護学概論
●精神看護学概論
●母性看護学概論
●小児看護学概論

●成人看護学方法論Ⅰ
●成人看護学方法論Ⅱ
●成人看護学方法論Ⅲ
●成人看護学方法論Ⅳ
●成人看護学方法論Ⅴ
●老年看護学方法論Ⅰ
●老年看護学方法論Ⅱ
●精神看護学方法論Ⅰ
●精神看護学方法論Ⅱ
●母性看護学方法論Ⅰ
●母性看護学方法論Ⅱ
●小児看護学方法論Ⅰ
●小児看護学方法論Ⅱ

●成人看護技術Ⅰ
●成人看護技術Ⅱ
●老年看護学演習
●精神看護学演習
●小児看護技術

●母性看護技術

●在宅看護論
●在宅看護方法論Ⅰ

●在宅看護方法論Ⅱ

●在宅看護論演習

●特別総合演習
●国際看護学
●卒業研究
●看護研究

●生と死を考える
●人間と社会と看護
●看護管理・医療安全
●看護倫理学
●災害看護学

●統合実習

●成人看護学実習Ⅰ
●成人看護学実習Ⅱ
●老年看護学実習Ⅰ
●老年看護学実習Ⅱ
●小児看護学実習
●母性看護学実習
●精神看護学実習
●在宅看護論実習

●基礎看護学実習Ⅱ

●基礎看護学実習Ⅰ